



教育目標

「自学、信愛、努力を基本とし、人間らしい生き方を求める生徒を育てる」

NANBU



学校だより第11号
氷見市立南部中学校
令和3年3月19日

ご卒業、おめでとうございます。



3月17日（水）、令和2年度 第74回卒業証書授与式を挙りました。

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学校行事の多くが規模縮小となった中、卒業式も卒業生とその保護者、教職員と2学年が出席し、1学年は各教室でモニター画面を見ながら参加するという形で行いました。

本年度の卒業生は、歴代の3学年が南部中学校の最高学年として過ごした一年間とは大きく異なる「時」を経験することになりました。その思いが、前期生徒会長が読んだ答辞に込められていました。ここにその一部を紹介します。

最高学年としての決意を新たにして始まった今年度。私たちは、例年と全く異なる1年間を過ごすことになりました。

三密を避け、全校生徒が集まることができず、教室で校内放送を聞いた始業式、生徒会長だけが参加した入学式。たった3日間登校しただけで、再び長期の臨時休校。外出もできず、友達と会うこともできず、大好きな部活動をすることもできない日々が続きました。5月の終わり、待ちに待った学校再開。私たち3年生は、「挑戦～自立に向けた一瞬を～」を学年テーマとして掲げました。

1学期、ソーシャルディスタンスを保ち、メディアスペースと美術室に分かれて過ごしました。楽しみにしていた修学旅行も、部活動の各大会も、今まで当たり前に行われてきた全てのことが中止になり、活動が制限されました。目標を見失い、途方に暮れそうになりながらも、私たちは「挑戦」することをあきらめませんでした。

2学期、今年度初めて、全校生徒が集合して開催した運動会。みんなの楽しむ笑顔が見られるように、「輝け！！^{ベストスマイル}最高笑顔～歴史を変える進化の刻^{とき}～」のテーマの下、今だからこそできる運動会にするため、3つの新しい競技を考えました。団活動や応援合戦では、安全に、安心して活動できるように、内容や演技を工夫しました。規模を縮小し、全く新しいものを一から作り出すことは大変でしたが、当日は、グラウンドいっぱい笑顔が咲かせることができました。仲間と協力することの大切さを再確認しました。

合唱用のマスクのおかげで、コーラスフェスティバルを開催することができました。最優秀賞を目指し、意見を出し合い、互いに高め合いながら、練習に励み、最高の合唱をすることができました。美術や技術の作品を展示し、学習発表会をすることもできました。

この困難な状況の中、いつもそばには、一緒に頑張ってくれた仲間がいました。毎日学校に登校し、仲間と学習できること、そんな当たり前のことに感謝し、幸せを感じました。54名の仲間たち。みんなと一緒に過ごした日々の思い出は、決して消えることはありません。これから、それぞれ進む道は違いますが、同じ空の下で頑張っている仲間がいることを忘れず、南中魂を胸に、たくましく歩いていきましょう。

この後、教職員、2学年、密を避けるため会場には入れなかった1学年、家族、地域の皆様への感謝の言葉が綴られ、「皆様のご期待にこたえられる立派な人間になれるよう、一層努力していくことを誓います。」と結ばれていました。

54名の卒業生は本年度、次々に起こる不測の事態にたくましく立ち向かい、学業に、部活動に、学校行事や生徒会活動に真摯に取り組みました。その努力に対し、改めて賞賛の拍手を贈りたいと思います。

卒業生が今後もしなやかな強さをもって歩みを進め、自分の可能性を広げるために大きく成長してくれることを祈っています。

卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます！！

卒業を祝う会

3月12日、後期生徒会主催の「卒業を祝う会」が行われました。1年生全員によるダンスには、3年生も多くが飛び入りし、一緒に楽しむ姿が見られました。また、2年生が4つのグループに分かれて出題したクイズには、3年生一人一人が端末機で回答するという斬新な趣向が取り入れられていました。

1、2年生の頑張りもさることながら、3年生がそれに温かく応える様子に、全校生徒の一体感を感じました。また一つ、南部中学校の伝統が受け継がれたと感じるひとときでした。



タイムカプセル埋設式

3月15日、3年生が校庭にタイムカプセルを埋めました。15年後に掘り起こすそうです。実行委員長の「15歳の僕たちの思いがここに 있습니다」の言葉に、多くの生徒が頷いていた姿が印象的でした。

15年後の自分に手紙を書いたとのこと、みんな、何を書いたんでしょうね…。



学校からのお知らせとお願い

○新型コロナウイルス感染拡大防止に係る令和3年度学校行事等の実施時期の変更について

・3学年修学旅行

氷見市中学校校長会は、市教育委員会と協議の上、例年春に実施している市内全中学校の修学旅行を、令和3年度は秋に変更することに決定いたしました。

これを受け、本校では9月28日（火）～30日（木）に実施することといたしました。旅行先は関西方面（奈良・神戸・大阪・京都）です。

・1、2学年の宿泊学習、校外学習

例年1学期に実施している2学年の宿泊学習、1学年の校外学習については、2学期に実施する予定です。

※なお、新型コロナウイルスの感染の状況によっては、今後も予定変更がありうることをご理解ください。よろしく願いいたします。

特集 **私たちにも中学時代はありました その3:最終回**

南部中学校の教員に、中学校時代の思い出を聞きました。

- ①県立一本に絞って、「不合格だったら浪人します」と三者面談で宣言し、担任を慌てさせました。
- ②高校受検期の自習の時間に、ストーブの周りに集まって雑談していたのが楽しかったです。
- ③県立受検初日の夜、ラジオを聞いて徹夜し、眠いまま二日目の受検をしました。終わって帰ってきて、学生帽を定位置においたら落下しました。その後、ギターが突然切れました。
- ④中1の冬、右手の肘を脱臼・骨折して手術しました。そのとき、執刀医に「この子は年齢の割には神経が太い」と言われました。どの神経でしょう……。
- 運動会で青団の応援団長をしました。それまでの振り付けを大きく変えて応援合戦に挑み、見事に優勝しました。しかし、その後しばらく、他の団のクラスメートから無視されました。しばらくたって、海岸で陸上の練習をしていたとき、足がひどくつって動けなくなったことがありました。すると、黄団の団長をしていた子がすーっと歩み寄り、自分を背負って学校まで連れていってくれました。言葉はなくても自然と仲直りができました。忘れられない出来事の一つです。
- 修学旅行は関西方面への3泊4日でした。初日は神戸の須磨の浦海岸付近の宿舎に泊まったのですが、翌日の朝食前、突然顧問の先生から海岸をランニングすることを伝えられました。当然着替えもなかったので、濡れた下着のままその日を過ごしました。どうも、顧問の思いつきだったらしいです。ちょっと腹の立つ思い出です。
- 中学時代は？と問われて真っ先に思い出すのは部活動（ソフトボール部）です。足腰を鍛えるため、学校前の海岸で砂浜をダッシュしたこと、真夏の外での練習で、あまりの暑さに我慢できず、家に帰ってはさみで自分の髪の毛をジャキジャキ自己流にカットしたこと、試合に負けて監督にビンタされたこと（でも、素直に受け入れ、頑張ろうと思えたのです）、優勝カップの中にジュースを入れてみんなで飲んだこと……。いいことも嫌なこともありましたが、今でも時々あの時に戻りたいと思えるほど大切な時代です。

